



YOU ARE THE KEY

あなたが鍵です



会長 佐藤順治 幹事 秋野 忠 クラブ奉仕 吉野 勲 職業奉仕 板垣広志 社会奉仕 小池繁治 国際奉仕 高橋良士 青少年奉仕 丹下誠四郎

出席報告：会員 77 名 出席 57 名 出席率 81.43 % 前回出席率 62.86 % 修正出席 58 名 確定出席率 82.86 %

ゲストスピーチ

中 近 東 を 旅 し て

余目高校教諭 木 村 喜 志 氏



オイル・ショック以来、マスコミを最もにぎわした言葉は「中近東」と「アラブ」だと言われています。また、大きく変容したのもこの地域だと言われています。

中近東は普通、東はアフガニスタンから西はモロッコまで、その中心をなすのがアラブ諸国です。これらの地域に興味を持ち始めたのは、日本で経験出来ない沙漠への単純な憧れからでした。ところが、三度四度と中近東への旅を重ねているうちに、私達の慣れ親しんだ欧米文化、仏教・農耕を基盤とする日本文化とは、全く異なるイスラム文化へと興味の対象が移っていった気がします。

ところで、中近東・イスラム・アラブといった言葉は、ややもすると血生臭いニュースや、四人妻といった興味本位のことを連想しがちです。しかし、これらは日本人にとって馴染薄さからくる誤解であることに気づきます。

中近東の中心をなすアラブ諸国の「アラブ」ですが、どうもつかみどころのない、厄介な言葉のようです。どうも民族的な意味に用いられることが度々

有るようですが、単なる民族でも、ましてや人種でもない、もっと漠然とした意味の言葉のようです。といいますのも、アラブを「アラビア語を母国語とし、アラブであることを自覚しているもの」、あるいは「イスラム文化を誇り、アラビア語を愛するもの」と定義している学者がいることからわかります。

しかし、狭義のアラブは、アラビア半島の遊牧民、すなわちベトウィンを指していたことが知られています。彼等は根からの沙漠の民らしく、自分達の祖先は沙漠の砂か、ラクダの糞から生まれてきたと考えていたといわれています。

ここで問題にしたいのは、「アラブ」と呼ばれるようになった人達の祖先の故郷は、どこだったのかということです。別の言いかたをすれば、アラビア半島で、最も早く人間の住み着いたところはどこかということです。今日、沙漠に生活の場を求めている人達も、はじめは、水の流れる、草木の茂るところに住み、そして、何かの弾みで、沙漠に押し出されたと考えるのが自然的と思います。

アラビア半島で水のあるところ、降水量に恵まれたところとなると、北イエメンとオーマンです。

北イエメンは、一口でいいますと高原の国です。(資料3. 地形) 富士山よりも高い山を抱える大変な山岳国の顔をも持っています。そのため、イン

あなたが鍵です — 会員増強にご協力を!

庄内空港の建設を推進しましょう

ド洋から吹き込む夏のモンスーンが、これらの山腹に突き当たり、乱気流をおこし、雨をもたらすとされています。

今年のイエメン旅行中二度雨に見舞われました。そのうちの一度は、グリーン・シティーの別名を持つイブで遇いました。落ち着いた降りっぷりで、年間1000ミリに達するというのを納得しました。この降雨が、モカ・コーヒーや棉花をはじめ豊かな実りをもたらし、シバ王国の基盤をなしていたとされています。そして、古代ギリシャ・ローマの人々が「多幸なアラビア」と憧れをこめて呼んでいたのもこの雨に負うところが大きかったと思います。(資料2. 歴史)

ここアラビア半島の南西部は、三千数百年あまりの大昔から、はっきりしない人達が現われては国を造り、滅んでいったところで知られています。

以上のことから、北イエメンを、アラブの故郷としてとらえることが可能かと思えます。

さらに、イエメンの地理的位置と、深い谷で区切られた複雑な地形のため、国の実情がはっきりしたのがわずか4~50年前という新しい顔を持つ国でもあります。

また、オスマン・トルコ等の宗主権下でも、実質的独立を保ち続け、1962年まで自治都市を残し、今日でも中央政府から独立的な民族が14もあるとされるなど、その後の変化が少なく中世的色彩を残す、いまだき珍しい国でもあります。

このようなイエメンの旅を通して、他のアラブ諸国と違う、イエメンの特徴的なことを少しまとめてみました。

まず、空港に着いた途端、大部分の男が体の正面に、大型の短剣・ジャンビアを差しているのに驚きました。用途をたずねると、護身用と答えます。実際街のいたるところでジャンビアの研師の姿を見かけました。しかし、実際に手にしてみると鋼特有の重さはなく、多分に男の装飾・シンボリックなものという感じでした。

次は、噛みたばこの一種とも言える「カート」です。夕方ともなると、街の一角は、カートを売る人、

買う人でごったがえしはじめます。3~40センチの長さの小枝を無造作に束ねたものや、小枝の先の部分だけを木の葉に包んだ極上品と様々です。これを仲間同志で部屋やロビーや守衛室や茶店で噛み始めます。新芽はちぎってぼりぼり、若葉は一枚一枚指で確かめてむしゃむしゃとやります。飲み込むのではなく、噛みながら口に溜めていくので、頬の一方が大きく膨らんでいきます。三度ばかり試みたが、青臭みと共に、渋み、苦みが口一杯に広がり、カゼ薬を飲んだ翌日のように、舌がなんとなく厚ぼく感じられました。

彼等は、カートの効用を眠気を取り払い、疲れは感じられなくなり、そして、力強くなると信じているようでした。ところが、サダで会ったドクターは体にいいはずがないと言いきっていましたが、長く続けると、腹の病を起しやすくなるし、食欲も性欲も無くなるということで、悪いことづくめでした。

噛みたばこの一種とは言っても、ろれつが廻らなくなり、陶酔しきった目つきを見ていると、覚醒剤の一種といったほうがよさそうでした。

三つ目は、段々畑と集落です。急斜面を可能な限り耕して、てまめに石積みをした見事なものです。その間の岩尾根や頂に、一塊となって集落がみられます。扇状地の扇端に立地する自然発生的な集落とは全く異なるものです。要するに、生活の便利よりも、外敵に対する備えの方を優先したものです。従って、水くみ、水運びが大変な仕事に思えました。この光景を見たオーストラリア・スイス人の女性が「これでは、イエメンの女性はロバと同じではないか」と憤慨していたのか印象的です。

また、イブから8キロばかり山に入ったジブラで家の内部を見る機会がありました。だいたいイエメンの家はノッポで、石づくりです。彼の家は、入ると土間の広間があり、ニワトリが遊んでいました。広間に面して、三つの入り口があり、その一つが彼の部屋でした。カラフルなカーペットが敷かれ、肘かけのクッション、机などがあり、結構物が豊富な感じを受けました。彼の子ども達も集まり、二時間ばかり楽しい時を過ごしましたが、当然奥さんは姿を

見せませんでした。要するに、ここは「男の部屋」なのです。帰り際、広間に面したもう一つの入り口から、こっちをみる女性の目を感じました。夫以外の男性は決して入ることの出来ない「女の部屋」だったようです。

衣で目を引くのは、「フータ」と呼ばれる男性のスカートです。マレーシア人の民族衣装と一脈通じるものです。シバ王国とその前のミナ王国はインドと往来があったと言われているので、それらを裏づけるものの一つかも知れません。女性はベール・チャドルをかたくなに守っていましたが、その種類は三つ位に分けられそうでした。ただし、紅海に面したティハーマ地方ではベール姿は殆ど見られません。

食で特別注目されるものはありませんでした。最もポプラーなものは羊レバー・ピーマン・タマネギを油でいためた「キブドウ」と、ソラ豆をとろ火で煮た「フル・ムダーミス」でした。これらを、イースト菌の入らないパンでつまんで食べていました。ご飯もありますが、他の中近東の国ぐにと同じくきつい味の付いたものです。パンは只ですが、飯は一品料理です。従って、飯をおかずパンを食べることは、珍しいことではありません。食事は全て手ですが、スパゲティー（マカロニと呼んでいた）を素手で食べるのにはいささか参りました。

次は、イエメン人の年間所得ですが、平均で300\$前後で世界最貧国の一つです。ところが、個人所有の車が走りまわり、カートに一日数千円かそれ以上の金をかけていると聞きました。大衆食堂で食事をする、300から300円もします。ホテル代は、これ以下はないという最低でも1,000円はします。まずまずのところだと5,000円は覚悟しなければなりません。一般的にかなり物価の高い国です。就業人口の80%以上は農業だというのに、野菜を除けば全て輸入です。輸出と言えば、僅かにコーヒー（モカ）くらいです。街には物が溢れていますが、全て輸入品です。勿論、貿易収支は大幅赤字です。それでいながら国家財政破綻と言うこともありません。その理由は、サウジアラビアを中心とする産油国への出稼ぎ者の収入のためです。その数は、144万人

を数えています。人口は700万人です。その半分は女性です。さらに、老齢人口と幼少人口を除くと労働人口は170万人位だと思います。そのうちの144万人だから、出稼ぎはイエメン最大の産業と言えます。

不思議に思えたことの一つに、南イエメン産のタバコを売っていたことです。国交断絶の国のものが首府サヌアでも堂々と売られていました。一体どういうルートで輸入されているのかと思ったら、サウジアラビア経由だとのことでした。

いずれにしても、やたらと国旗は見えるけれども、イエメン・アラブ共和国という国が見えない不思議な国という印象を強く受けました。

## 資料

### 1. 位置

#### イエメン・アラブ共和国



### 2. 歴史

- B.C.30C シバ王国成立
- B.C.7C中 マアリブ・ダム → 灌漑農業・アフリカ（エチオピア）植民地
- ↑
- 巨大な富
- ↑
- ギリシャ・ローマから“アラビアフェニックス”と呼ばれていた
- 120年 ダム破壊 → シバ王国衰退へ
- “シバの女王”の国 → 3000年ほど前に実在
- 伝説によると、ソロモンの名声を聞

いて、その知恵を試すためイスラエル王国を訪ねた。そして、彼の子供を宿して帰国した。その子供がエチオピア帝国を築いた最初の皇帝とされている。

その後、エチオピア、ササン朝ペルシャ、ポルトガル、オスマン・トルコ、イギリスの侵略をうける。これに加えて、キリスト教、ユダヤ教、イスラム教のごたごた問題もからむ。

1918年 イエメン・アラブ王国成立（しかし1962年まで自治都市が存続）

1931年 イギリス人  
1932年 イギリス人  
          アブドゥラ・フィルドー

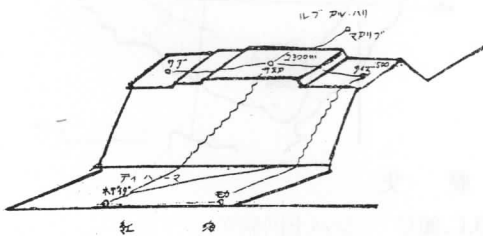
実情がや  
っと知ら  
れる

1962年 革命により、イエメン・アラブ共和国成立

1962～70年 内乱起こる。エジプトとサウジアラビアが介入

1967年 南イエメン人民共和国成立

### 3. 地 形



## 会 長 報 告

佐藤 順治 君

### 1. ジュリーさん帰国

去る5月27日午後5時30分より当産業会館4階第2会議室に於て、ジュリーさんの送別会を開催致しました。

出席者は、ジュリーさんのホーム・ステイの皆さん、南高校の先生方、学校のお友達、それに当クラブ会員を加え約40名でした。

秋野幹事さんの巧妙な司会のせいか、送別会に

相応しい雰囲気盛り上がり、盛会でありました。

尚ジュリーさんは30日、若生さんの車で鶴岡を出発し、山形空港より帰国の途につきました。

若生さんには、ジュリーさんが去年8月22日当鶴岡に到着以来、30日の帰国する迄大変お世話様になりまして、ほんとうに有難うございました。

厚くお礼を申し上げます。

### 2. 白坂久さん退会

白坂さんは昭和58年6月入会されましたが、この度大宮市、日本交通公社関越営業本部に栄転の為、退会することになりました。

これ迄約3年の間、クラブ運営に関しては大変なご尽力を頂き、ほんとうに有難うございました。特にご職業柄、出張、旅行など、殊に訪台については格別のご配慮をお願いするなど、唯々お世話になりっぱなしという感じでございます。

尚、新任地に行かれましたら、お身体には充分気をつけられ、頑張ってください。

## 幹 事 報 告

秋野 忠君

- 会報到着→鹿児島西R.C
- 台中港区扶輪社15周年記念式典参加へのお礼状
- (社)鶴岡青年会議所創立20周年記念式典が、成功裡に終了した事のお礼状。
- 中田敏和君（東京海上）の新任地着任のあいさつ状到着。

## 退 会 挨拶

白坂 久君

大変急な転勤でございまして、6月1日付で埼玉県大宮市の営業本部の方へ参る事になりました。あと3回出席すれば3年間皆出席となる所でございますが、大変残念であります。埼玉に私の出身地でもあります。妻と次男が新潟に居りますので、逆の形の単身赴任となります。

私の後任に高崎から富田と言う者が参りますので、よろしくお願ひ致します。3年間いろいろとお世話になり、大変ありがとうございました。

## 委員会報告

### 出席委員会

委員長代理 秋野 忠君

#### ○年間皆出席

15年間皆出席 市川輝雄君  
15 “ 佐藤順治君  
12 “ 飯白祐侘君  
10 “ 丹下誠四郎君

#### ○5月100%出席 51名

秋野、阿蘇、張、藤川、布施、飯白、石川、石黒板垣(俊)、市川、飯野、川村、黒谷、小池、小松加藤(和)、皆川、風間、松山、塚原、三井(賢)、嶺岸、迎田、松田(貞)、松田(士)、中江、村中、関原、佐藤(忠)、佐藤(順)、佐藤(衛)、佐藤(友)、佐藤(元)、新穂、菅原、鈴木(善)、鈴木(弥)、佐藤(陸)、庄司、坂本、碓氷、佐々木、斎藤(昭)、白坂、丹下、富樫、高田、手塚(拓)、若生、山口吉野

### 国際青少年計画委員会

#### ジュリーの帰国に寄せて

若生恒吉君

8月22日来日から早10ヶ月になり、5月30日11時に帰国の途につきました。この10ヶ月間、ロータリーから寄せられた数多くの御指導、御厚情に対しジュリーにかわり厚くお礼を申し上げます。

27日のさよならパーティーには多くの皆さんから御参加していただき、心より感謝申し上げます。

アメリカの学生ステファニー(寒河江R.C)と寒河江R.C 4名と共に山形空港3時40分全日空の機上の人となり、羽田から新橋第一ホテルへ一泊され、31日3時25分、大韓機にてソウル経由ケネディ空港そして翌日、祖国バミューダの自宅へ、日本時間2日の午前3時に無事帰ることが出来ました。少し疲れた様子の電話でしたが、私と家内も肩の荷が一安心して床に就きました。

8月に来鶴された時は大型バック2つの荷物でし

たが、帰る時は60kgの荷物となり、数多くの御土産物で、ジュリーは大変喜んでおりました。御土産以上に多くの友達と接し、大変楽しい日本の思い出を自分のものにしたものと確信しております。

特に茶道、生け花には特に興味を持っていたようでしたし、又、25日の天神祭りには編笠と長ジュバン姿で化け物になり、市内を歩いたのも、一つの思い出となった様子でした。

学生としても県立南高の先生達ともスムーズにいき、歴史・文化等も学ばれ、斎小学校、西高校、山添高校、鶴工高にも紹介され交換されました。

私が直接感じ、反省する点を2、3あげてみます。ジュリーの場合、バミューダのR.Cからロータリーについて何の教育も受けないで来たので、ロータリー行事よりも学生個人の行動が優先するとの考えなので大変苦労したし、又、ロータリアンとの交換も少なくなかったと思う。

地区委員会にはオリエンテーションが2回もあるのだから、その中でロータリーについて話しをして戴きたい。

県立南高に入ったが、進学校の環境の中なので、後半先生も生徒も少し関心が薄れた様子なので、私は実業高校の方が日本の本来の高校生活が楽しめたのではないかと。

西クラブにレズリーが来ているので、2人だけの生活になる事が時々あり、あまり近いところで二人一緒の受入れはホスト、ファミリーが大変です。

最後にR.C予算100万円の大事業でありながら、100万以上の価値があったかが心配であります。ほんとうにありがとう御座いました。

### プログラム委員会

市川輝雄君

クラブ創立27周年記念元幹事、物故会長を偲ぶ。

(エピソード各10分以内)

第1回 6月10日

会長 幹事

初代・2代 小花盛雄 津田晋介

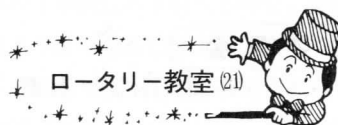
3代 三浦岩次郎 小池繁治

4代 佐藤伊和治 三井賢二

第2回 6月17日

会 長 幹 事

5代	池内方平	石黒慶之助
6代	斎藤栄作	新穂光一郎
7代	早坂源四郎	笹原桂一
8代	斎藤得四郎	佐藤忠



クラブへの課題：若い人の入会

各クラブに採択してほしい年間目標をR.I.が設定しました：年度初めより会員の平均年齢を引き下げ、ロータリー年度を終えることであります。

このようなわけで、クラブに若い人を入会させることが重要となりました。理事会が言っているように、できれば、「親睦活動にスムーズに溶け込めるように、3人以上同時に入会させて下さい」

財団補助金受領者やローターアクターで適正な資格条件を保持する人に重点的に入会を勧めることも理事会は要請しています。アディショナル正会員として、また、シニア・アクティブ会員によって空席となった職業分類を充填するものとして、このような人を考慮できることを見逃さないで下さい！

ロータリアン必携、第2巻の会員に関する章、並びにクラブ会長必携中の委員会資料を読んで下さい。クラブに活力と新しい息吹をもたらすことのできる若い人を直ちに探しにいくよう会員に奨励して下さい。

クラブ相談室

**問：**ロータリーに26年間在籍したシニア・アクティブ会員が、私達のクラブから75マイル（120キロメートル）離れた場所に住居と事業所を移しました。最も近いロータリー・クラブでも50マイル離れています。彼はロータリアンでい続けたいと熱望していますが、規則正しく出席することもメイクアップすることも難しい状況です。私達としては、この人を失いたくありません。何か方法がないでしょうか？

**答：**この人が65歳以上なら、クラブ理事会は出席規定の適用を免除できます。しかし、新しい地域社会にロータリー・クラブを結成するほうが理想的方法であります。結成できるかどうか、この人に調べてもらってから、地区ガバナーに相談して下さい。

親睦活動委員会

佐藤 忠 君

会員誕生 張 紹淵君・布施隆夫君  
石黒慶之助君・松田貞夫君  
高橋良士君・高田耕助君  
田中錦造君

奥様誕生 斎藤美代子様・斎藤 和 様

スマイル

小池繁治君 第3回鶴岡「一枚の繪」絵画展を6月7日P.M.6:00～8:00 銀座会館2階でご招待会開催致しますので、ぜひご参加下さい。

斎藤庄治君 山形新聞に掲載されたので。

碓氷節雄君 鶴岡電子計算センターで計画致しましたワープロの無料講習会にぜひご参加下さい。

佐々木喆彦君 去る5月27日P.M.9:00よりYBCでラジオドラマが放送されました。原案を私が書いた事を記念して。

阿部与十郎君 荘内日報に掲載されたので。

若生恒吉君 交換学生のジュリーのホーム・ステイが無事終了した事と、クラブの皆様方からのご協力に感謝して。

ビジター

鶴岡西R.C 菅原年雄君・村山 貢君  
立川R.C 滝 禅源君